


安全データシート

作成日:2022年8月23日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	酢酸銅(Ⅱ)一水和物
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	CA0073
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
健康に対する有害性	急性毒性(経口):区分4
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性):区分2 水生環境有害性 長期(慢性):区分2
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	飲み込むと有害 水生生物に毒性 長期的影響により水生生物に毒性
注意書き	【安全対策】 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。 【応急措置】 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 漏出物は回収すること。 【保管】 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	酢酸銅(Ⅱ)一水和物
別名	酢酸第二銅
化学式	(CH ₃ COO) ₂ Cu·H ₂ O
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 6046-93-1
含有量	98%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(2)-693 / 公表
その他	HSコード: 2915.29
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

酸化剤, 高温。

接触回避

保管

安全な保管条件

容器を密閉して換気の良いところで保存すること。

施錠して保管すること。

容器包装材料

ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

管理濃度

未設定

日本産業衛生学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

目の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体

色

暗緑色

臭い

該当情報なし

融点/凝固点

115°C

沸点又は初留点及び沸点範囲

240°C

燃焼性

該当情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

該当情報なし

引火点

106°C(SCC)

自然発火温度

該当情報なし

分解温度

該当情報なし

pH

水溶液は酸性

動粘性率(粘度)

該当情報なし

溶解度

水 7.2g/100g(20°C), 水に溶け, エタノールに溶けにくい。

n-オクタノール/水分係数

該当情報なし

蒸気圧

該当情報なし

密度及び/又は相対密度

1.88(20°C)

相対ガス密度

該当情報なし

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

該当情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

空気中で風化する。

危険有害反応可能性

該当情報なし。

避けるべき条件

高温。

混触危険物質

酸化剤。

危険有害な分解生成物

一酸化炭素, 二酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性

経口: ラットを用いた経口投与試験のLD₅₀値710mg/kg(EHC 200, 1998)に基づき区分4とした。

経皮: 該当情報なし

吸入: 該当情報なし

(粉塵)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

該当情報なし なお、酢酸は皮膚刺激性を示すことがある(PATY,

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

該当情報なし なお、酢酸及び銅粉じんは眼刺激性を示すことがある(PATY,2001)。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器: 該当情報なし

皮膚: 該当情報なし

生殖細胞変異原性

該当情報なし

発がん性

該当情報なし なお、IRIS(1991)では銅をD(区分外相当)に分類している。

生殖毒性

該当情報なし

特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし
誤えん有害性	該当情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: 魚類(ファットヘッドミノー)の96時間LC ₅₀ =390 μg/L(EHC200、1998)(酢(急性)酸第二銅濃度換算値:1225 μg/L)から、区分2とした。 長期: 急性毒性が区分2、金属化合物であり水中での挙動および生物蓄積性が(慢性)不明であるため、区分2とした。
残留性・分解性	該当情報なし
生体蓄積性	該当情報なし
土壌中の移動性	該当情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	3077
品名(国連輸送名)	環境有害物質, 固体
国連分類	9
容器等級	Ⅲ
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	171
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質
毒物及び劇物取締法	劇物
消防法	危険物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[銅及びその化合物] 危険性又は有害性を調査すべき物[銅及びその化合物]
大気汚染防止法	有害大気汚染物質
水質汚濁防止法	指定物質
船舶安全法	有害性物質
航空法	その他の有害物件
16. その他の情報	
参考文献	NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) 職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。